



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

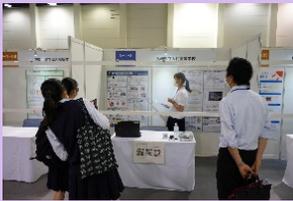
1巻/38号 2021/8/26

◆SSH生徒研究発表会 JST理事長賞

令和3年度 スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会第2部が、8月20日（金）に開催され、本村かなさん（理科部3年）が見事、**科学技術振興機構理事長賞**（全国第2位）および生徒投票賞を受賞しました。

この大会は全国のSSH指定校が一堂に会し、学校を代表する研究成果を発表しあうものです。8月4日（水）と5日（木）に第1部が開催され、第2部で発表する分野別の代表校の選出が行われました。本村さんは物理・工学分野50校の代表として、第2部（全体発表会）においてオンライン発表を行いました。各分野代表だけあり、どの発表も大変すばらしいものでした。

学校設定科目「科学基礎」での先生との何気ない会話をヒントにはじまったこの研究。1、2年生の皆さんも、是非、日々の授業に研究のヒントを見つけてみてください。



◆祝!! わかやま総文 最優秀賞(全国1位)

第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）自然科学部門が7月31日（土）～8月2日（月）に和歌山県紀の川市で開催され、理科部3年の本村かなさんが見事、**最優秀賞**に輝きました。

この大会は「文化部のインターハイ」と呼ばれ、芸術文化活動に取り組む高校生が日頃の成果を披露する、高校生最大の文化の祭典です。本校からは研究発表・物理部門に本村かなさんが、同じく研究発表・生物部門に河原正堂さん、太田誠也さん（ともに理科部3年）が出演し、これまでの研究成果を発表しました。

本村さんの研究（落ち葉に宇宙の神秘を見る）は、素朴な疑問を仮説をもとに検証を重ねていった点が高く評価されました。

惜しくも入賞に届かなかった河原さんと太田さんの研究も絶滅危惧種であるオキヒラシノミガイについて多くの新知見があり、非常に意義深い研究であるとのコメントを頂きました。



◆2021 WWL長崎フォーラム 優秀賞

7月に開催された2021 WWL長崎フォーラムにて、数理探究科3年の本多萌乃さんと松村香凜さんの「デンプンによってアイスクリームは溶けにくくなるのか？」が見事、**優秀賞**を獲得しました。

本フォーラムは、生徒が取り組んだ課題研究を発表しあい、広く成果の普及を目指すものです。WWLコンソーシアム構築支援事業拠点校である長崎東高校が各連携校に呼びかけて実現しました。

2人は、はじめての対外発表に加えてZoomを用いるということで、発表前はかなり緊張したようでしたが、発表が始まると落ち着いて堂々と自分たちの研究成果を発表していました。



◆1年ミニ課題研究 スタート!!

1学期に取り組んだ個人リサーチや連携講座を踏まえ、2学期から1学年すべての学科でミニ課題研究に取り組みます。できるだけ似たような分野やテーマで班編制をしていて、班ごとに探究のプロセスを身に付け、2年次の課題探究につながる課題を見つけることを目的にしています。また、普段話したことのない人ともコミュニケーションを取り、お互いの個性を認め、探究活動を進めていくことも大切なことです。

【探究活動予定】

- 9 / 16 (木) 班別集会
- 10 / 7 (木) ミニ課題研究スタート
- 12 / 2 (木) ポスター作成スタート
- 3 / 3 (木) 領域内発表会
- 3 / 4 (金) 全体発表会

SSH活動の詳細は、下記URLまたは2次元コードから

→ <http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html>

